

新ごみ減量制度開始後の状況

ステーション収集にかかる経費の増減

単位（千円）

区 分		新制度実施後 A	前年度 B	対前年度比較 A - B		
		H20.6～H21.3	H19.6～H20.3	増 減	比率 (%)	
歳出	収集 運搬	収集品目の増	2,094,047	1,933,571	160,476	8.3
		直営の委託化	361,637	491,877	△ 130,240	△ 26.5
		計	2,455,684	2,425,448	30,236	1.2
	処理	プラスチック選別	407,480	585,027	△ 177,547	△ 30.3
		枝葉・草資源化	211,259	0	211,259	皆増
		びん・缶その他	126,353	145,326	△ 18,973	△ 13.1
		計	745,092	730,353	14,739	2.0
	合 計		3,200,776	3,155,801	44,975	1.4
歳入	売払	びん・缶売払い	139,467	137,232	2,235	1.6
		古紙売払い	154,821	38,043	116,778	307.0
	合 計		294,288	175,275	119,013	67.9

【歳入の増】 - 【歳出の増】 = 74,038 千円

ごみ焼却の減少による二酸化炭素排出量の削減

新制度移行に伴う、ごみ排出量の減少で、ごみの焼却により発生する二酸化炭素が大幅に削減されました。

削減することができたごみ焼却量は5万5000トンで、二酸化炭素に換算すると6万4000トンとなります。

これは天然林193平方キロメートルが1年間に吸収する二酸化炭素量に相当します。

本市の面積の26.6%で、おおよそ南区と西区を合わせた広さになります。

